

アチェ河緊急河川改修事業 Stage Phase 1



対象事業の河口部

借款概要

承諾額/実行額	8,953百万円/8,814百万円
借款契約調印	1984年6月
借款契約条件	金利3.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1993年5月

事業概要

アチェ河の河口よりインドラプリまでの区間において、河川改修及び新放水路を建設することにより、アチェ河の下流域を5年確率洪水から守るもの。

評価結果

本事業の効果を住民へのインタビュー調査（対象100世帯）から見ると、事業完成前には100%の世帯が「床上浸水」、「家畜の喪失」、「田畑への被害」といったダメージを受けていたところ、完成後は被害に遭っている世帯はなくなり、また、完成前は「大雨の時には危険を感じる」等の意識をもつものが95%以上あったのが、完成後は99%が「不安はない」という意識に変化した事等から、その効果が認められる。また、同インタビュー調査より、9割以上が本事業の完成は農業の安定による収入増加とそれに伴う雇用機会の増加（安定化）等により「経済活動を支えている」と回答している。

一方で、下流域では土砂堆積、中～上流域では河床低下が進行しており、このまま放置すると効果の持続性が損なわれる可能性があるところ、同国政府における維持管理予算不足の解消が必要である。施設の補修や補修後の持続性確保に関しては援助効果促進調査（SAPS）を通じて今後の対応策につき支援を行っている。